平成29年度施設管理に対する評価シート

◎基本情報

管理施設

①施設名	大阪市立クラフトパーク
②指定管理者名	一般財団法人大阪教育文化振興財団・イオンディライト株式会社共同事業体
③評価対象期間	平成２９年４月１日　～　平成３０年３月３１日
④指定期間	平成２８年４月１日　～　平成３３年３月３１日
⑤所管課・担当	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当 （電話：06－6539－3346）

管理運営業務等の概要

①業務概要	クラフト（手作り工芸）の総合施設である「クラフトパーク」における施設の維持管理と、陶芸等の工房を活用した創作教室・体験教室等の事業や、クラフト関連の情報提供等の各種事業の運営。
②利用状況の概要	施設利用者数50,286人（別途その他入館者18,103人）
③施設の設置目的・目標（成果指標）	新たな基礎自治体が所管・運営する施設への移行に向け、収支均衡を図っていく。
④年度目標	効果的な情報発信を実施し、さらなる利用者の向上に努め、収支改善を図る。

◎管理運営の実施状況

1　施設の設置目的の達成及びサービスの向上

①施設の管理運営状況（管理運営方針・手法に沿った施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等の実施状況）	・設備維持管理の状況、職員の体制、危機管理・安全管理など、施設の管理運営状況は、生涯学習担当とクラフトパークとの毎月定例の連絡会での報告や、局の技術職員による毎月定例の電気設備点検、イベント時の視察などによって管理運営業務年度協定書の仕様のレベルを十分に満たしている。 （危機管理研修・救急救命講習の実施など）
②事業計画の実施状況（計画に沿った事業実施、サービスの質、利用促進のための取組みと効果、利用者満足度の把握・反映状況、自主事業等の実施状況）	代行・自主事業ともに事業計画通りに事業が実施されており、アンケート調査結果においても、満足度96％と高い水準にある。また、各種メディアやイベントでの広報、PR動画の作成などさらなる利用者の向上に努めており、期待レベルに達している。
③施設の有効利用（他施設との連携状況、地域との連携状況、市民・ＮＰＯとの協働状況等）	地域団体や地域商店街などが実施する「古代市」への積極的参加、区民センターでの夜間講座開講、地域産業交流フェア、グランフロント大阪ナレッジキャピタルなどでの出張体験講座の実施など、さまざまな団体・企業と連携した企画を実施した。 クラフトパークフェスタ2017においては、運営に協力するサポーターを受講生から募集し、クラフトパークで学んだ技法をフィードバックする機会を提供した。 また、クラフトパーク施設の特性や指導手法を活用した、大学生インターンシップの受け入れや、中学生職場体験を実施した。

2　市費の縮減効果（収支状況）

①収入・支出状況	収入　177,129,264円 （利用料金146,690,800円、自主事業収入30,438,464円、管理代行料0円） 支出　176,994,744円
②市費縮減に係る取組み状況	市政改革プランの実施計画に沿って、平成26年度からの2年以内で収支均衡を図るため、収入においては料金改定を行い、創作教室の基礎コースを27,000円、本科コースは33,000円、専科コースは39,000円と、それぞれ3,000円の値上を実施した。支出においては、開館時間を変更（夜間閉館）し、高額な光熱水費が必要な吹きガラス教室を休止するなど、市費歳出の大幅な縮減を図った。 ＜平成25年度＞（利用料金制）管理代行料　74,977千円 ＜平成26年度＞（利用料金制）管理代行料　14,771千円 ＜平成27年度＞（利用料金制）管理代行料　0千円 ＜平成28年度＞（利用料金制）管理代行料　0千円 ＜平成29年度＞（利用料金制）管理代行料　0千円

3　社会的責任・市の施策との整合等

環境への配慮、就職困難者の雇用への取組み、個人情報保護に関する取り組み等の実施状況	個人情報保護方針を策定し、適切に取り扱っている。

4　その他（点検等における要改善項目の対応状況、その他特筆すべき事項等）

①評価項目概要	なし
②上記についての成果や望まれる対応等	なし

◎評価

1　所管所属による１次評価（太枠にＳ・Ａ・Ｂ・Ｃの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	施設利用者数はここ数年5万人を下ることはなく、また利用者満足度96%と高く、良質な安定的サービスが提供されていることから、市民の文化の向上及び生涯学習の振興に寄与した。	A
②市費の縮減効果に対する評価	平成27年度から管理代行料0千円で収支均衡を図っており、平成28年度に続き、平成29年度の収支も若干の黒字となった。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報の保護など、社会的責任・市の施策と合致している。	B
④総合評価	安定的な利用者サービス、市費の縮減が計画どおり達成されている。	B

2　外部専門家等の意見

・利用者満足度が非常に高水準を維持しており、高く評価できる。
・利用者減は収支改善のために招いた結果であれば問題はなく、収支均衡を継続している市政改革の成功例と言えるのではないか。
・地下鉄などで配架しているポスター等についても、洗練されてきた。
・変革の過渡期にあるので、期待感を感じる。
・運営に協力するサポーターを受講生から募集して参画に巻き込むという工夫は、非常に素晴らしい。
・受講生の受講終了後について、例えば、集まって展示会をするとか、インスタグラムなどで作品の情報発信を支援するというような、何らかのサポート体制を構築してもらいたい。

3　所管所属最終評価（太枠にＳ・Ａ・Ｂ・Ｃの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	施設利用者数はここ数年5万人を下ることはなく、また利用者満足度96%と高く、良質な安定的サービスが提供されていることから、市民の文化の向上及び生涯学習の振興に寄与した。	A
②市費の縮減効果に対する評価	平成27年度から管理代行料0千円で収支均衡を図っており、平成28年度に続き、平成29年度の収支も若干の黒字となった。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報の保護など、社会的責任・市の施策と合致している。	B
④総合評価	安定的な利用者サービス、市費の縮減が計画どおり達成されている。 収支均衡を継続している市政改革の成功例と言える。	B

評価の基準
- Ｓ…事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた
- Ａ…事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた
- Ｂ…おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた
- Ｃ…事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない

※　施設の管理運営に関して過失による事故や協定違反等による改善指示、参加停止措置）などのペナルティを受けた場合は、当該項目と総合評価については原則としてＣとすること

指定管理者が当初提案した事業計画が、本市の求める水準と比して非常に高いと判断される場合、事業計画通りの運用をしたことで高評価を行うことも可としますが、市民への説明責任を果たせるよう心がけてください。